

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

Bulletin of the National Museum of Ethnology Vol. 25No. 4; Cover, Contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009163

2001—25_卷4_号

国立民族学博物館 研究報告

●
オーストロネシア語族と日本語の系統関係———崎山 理

中東イスラム世界における「聖者」発生の社会的・認知的メカニズム
——エジプト・南シナイ地域の事例研究———西尾哲夫

The Sixteen Bodhisattvas in the Dharmadhātu Maṇḍala———Musashi Tachikawa

Strange Customs: Incipient Social Differentiation in Kamchatka
through the Eyes of the First Russian Explorers———Victor A. Shnirelman

Notes on the Japanese Collection of Count Bourbon Bardi
at the Museo d'Arte Orientale di Venezia———Isao Kumakura, Josef Kreiner

『国立民族学博物館研究報告』1巻1号～25巻4号 総目次および索引

『国立民族学博物館研究報告別冊』1号～21号 総目次



国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 TEL.06-6876-2151

国立民族学博物館研究報告

25 卷 4 号

2001 年

目 次

オーストロネシア語族と日本語の系統関係	崎山 理.....465
中東イスラム世界における「聖者」発生の社会的・認識的メカニズム ——エジプト・南シナイ地域の事例研究——	西尾哲夫.....487
The Sixteen Bodhisattvas in the Dharmadhātu Maṇḍala	Musashi Tachikawa.....537
Strange Customs: Incipient Social Differentiation in Kamchatka through the Eyes of the First Russian Explorer	Victor A. Shnirelman.....625
Notes on the Japanese Collection of Count Bourbon Bardi at the Museo d'Arte Orientale di Venezia	Isao Kumakura, Josef Kreiner.....641
『国立民族学博物館研究報告』25巻 総目次	669
『国立民族学博物館研究報告』寄稿要項	670
『国立民族学博物館研究報告』執筆要領	671
『国立民族学博物館研究報告』1巻1号～25巻4号 総目次および索引	
『国立民族学博物館研究報告別冊』1号～21号 総目次	

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 25 No. 4

2001

Sakiyama, Osamu	Genetic Relationships between Austronesian and Japanese	465
Nishio, Tetsuo	Social and Cognitive Background for the Genesis of So-called Sainthood	487
Tachikawa, Musashi	The Sixteen Bodhisattvas in the Dharmadhātu Maṇḍala	537
Shnirelman, Victor A.	Strange Customs: Incipient Social Differentiation in Kamchatka through the Eyes of the First Russian Explorers	625
Kumakura, Isao Kreiner, Josef	Notes on the Japanese Collection of Count Bourbon Bardi at the Museo d'Arte Orientale di Venezia.....	641

Chronological and Alphabetical Index of

Bulletin of the National Museum of Ethnology Vol. 1, No. 1 – Vol. 25, No. 4

Chronological Index of

Bulletin of the National Museum of Ethnology Special Issue No. 1 – No. 21

国立民族学博物館研究報告 25巻 総目次

25巻 1号

加藤 昌彦：宇都宮方言におけるいわゆる自発を表す形式の意味のおよび形態統語の特徴 … 1	
赤嶺 淳：熱帯産ナマコ資源利用の多様化 ——フロンティア空間における特殊海産物利用の一事例—— ……	59
河野 本道：アイヌ系住民の都市における動向 ——北海道内二大都市における場合の輻合・拡散現象—— ……	113

25巻 2号

野林 厚志：民族考古学的アプローチにもとづくパイワンの罌粟研究 ——動物遺存体の解釈に関する一試論—— ……	151
箭内 匡：マプーチェ社会における口頭性 ——思考と存在の様式としてのコミュニケーションの様式—— ……	177
西 幾郎：ヒマラヤ地域のチベット・ビルマ系言語研究の動向 ——回想と現状—— ……	203
Weera Ostapirat: Kra: The Thai Least-Known Sister Language ……	235
Andrew Strathern and Pamela J. Stewart: Recent Ethnological Studies from the Highlands of Papua New Guinea ……	271

25巻 3号

岸上 伸啓：北米北方地域における先住民による諸資源の交易について ——毛皮交易とその諸影響を中心に—— ……	293
桑山 敬己：アメリカ文化人類学教科書の内容分析 ——1990年代前半からの変化を中心に—— ……	355
井口 欣也：神殿と図像 ——中央アンデス地帯形成期のクントゥル・ワシ神殿における図像表現の変容プロセス—— ……………	385
松山 利夫：オーストラリアにおけるセンサスと先住民集計に関するノート ……	433

25巻 4号

崎山 理：オーストロネシア語族と日本語の系統関係 ……	465
西尾 哲夫：中東イスラム世界における「聖者」発生の社会的・認識的メカニズム ——エジプト・南シナイ地域の事例研究—— ……	487
Musashi Tachikawa: The Sixteen Bodhisattvas in the Dharmadhātu Maṇḍala ……	537
Victor A. Shnirelman: Strange Customs: Incipient Social Differentiation in Kamchatka through the Eyes of the First Russian Explorers ……	625
Isao Kumakura, Josef Kreiner: Notes on the Japanese Collection of Count Bourbon Bardi at the Museo d'Arte Orientale di Venezia ……	641

『国立民族学博物館研究報告』寄稿要項

1. 『国立民族学博物館研究報告』の目的

『国立民族学博物館研究報告』（以下「研究報告」という）は民族学（文化人類学）の発展に寄与するために、国立民族学博物館（以下「本館」という）が刊行する研究誌です。この目的に即して、民族学、人類学及び隣接諸科学に関する論文、資料、研究ノート（以下「論文等」という）を掲載します。

2. 寄稿資格

『研究報告』に寄稿することができる者は、次のとおりです。

- (1) 本館の専任教官及び客員教官
- (2) 評議員その他本館の組織・運営に関与する者及び関与した者
- (3) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者（本館の研究協力者に関する内規に定める者。）
- (4) 本館の専任教官が研究代表者として、外部資金により組織する又は組織した研究プロジェクトの研究分担者及び研究協力者（(3)の研究協力者を除く）
- (5) その他出版委員会の審査を経て、刊行物審査委員会が適当と認めた者

3. 論文等掲載までの過程

寄稿された論文等は、『研究報告』編集部会（以下「編集部会」という）が選定した審査員による審査結果を踏まえて、編集部会が掲載の可否及び改稿の必要性を決定します。なお、審査員の評価及び意見は、必要に応じて、寄稿者と出版委員会に開示されます。

4. 寄稿者による改稿、最終稿

寄稿された論文等について、編集部会が掲載を決定するまでの間に、必要に応じて寄稿者に改稿を求めることがあります。また、掲載が決定された論文等は、掲載に先立って、寄稿者にその原稿を最終確認する機会が与えられます。

5. 著者校正

寄稿者による著者校正は原則として初校のみとします。校正は、誤字、脱字の類の修正のみとし、新たな文章の書き込みは認められません。

6. 使用言語、文字

論文等において使用する言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のいずれかとします。

論文等を上記以外の言語で書く必要がある場合は、寄稿に先立って編集部会に相談してください。原稿に特殊な文字・記号を用いる場合も同様です。

7. 原稿の長さ

原則として無制限とします。ただし、論文の場合に限っては、「ひとつの論文」として完結する内容と構成であることを要します。

8. 原稿の返却

寄稿された論文等は、採否にかかわらず返却しません。

9. 原稿料等

原稿料の支払い、掲載料の徴収はしません。

10. 執筆要領

原稿の執筆は、別に定める『国立民族学博物館研究報告』執筆要領に従ってください。

11. 寄稿・連絡先

原稿の寄稿及び連絡先は、下記のとおりです。

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1

国立民族学博物館内

出版委員会『研究報告』編集部会

電話（代）06-6876-2151、ファックス 06-6878-8429

e-mail: hensyu@idc.minpaku.ac.jp

『国立民族学博物館研究報告』執筆要領

1. 論文等の構成

論文は、標題、著者名、要旨、キーワード、目次、本文、(必要に応じて)謝辞、注、参照文献リスト、(必要に応じて)図表(写真を含む)から成るものとする。

資料・研究ノート等は、標題、著者名、本文、(必要に応じて)謝辞、注、参照文献リスト、(必要に応じて)図表(写真を含む)から成るものとする。

2. 表記の原則

日本語表記

日本語の表記は常用漢字、現代かなづかいを用いる。年号、月日その他の数字はアラビア数字を用いる。ただし、慣用されている熟語では漢数字を用いる。

年号は西暦を用いる。外来語は慣用に従う。人名、地名は、現地の発音に近いカタカナ表記を採用する。いずれの場合も、必要に応じて現地語を丸括弧内に附記する。ただし、すでに定着した人名・地名は慣用に従ってよい。

カタカナで表記した現地語単語は、文中で用いることができる。その場合、初出の個所に丸括弧で括って、現地語を附記する。

漢字表記

現地の言語が漢字表記の場合、現地語単語を日本字で表記する。固有名詞以外はカギ括弧で括る。現地の漢字表記がそれに対応する日本字と異なる場合(中国語の簡体字など)、初出の個所に丸括弧で括って、現地表記を附記する。

人名表記

アルファベットによる人名表記は、後述する参照文献リストの見出し人名のみを例外として、論文等の使用言語に関らず、日本人氏名のローマ字表記も含めて、名、姓の順に記し、いずれも頭文字は大文字、それ以降は小文字で表記する。

3. 書式細目

標題、著者名

論文等の本文を日本語ないし中国語で書く場合は、日本語ないし中国語での標題および著者名、次いで英語での標題およびローマ字表記の著者名を、この順に記す。本文を欧文で書く場合は、同じ言語での標題およびローマ字表記の著者名、次いで日本語での標題および著者名を、この順に記す。

要旨

論文には、本文に用いる言語に関りなく、論文要旨を日本語および英語で添付する。日本語の要旨は300字、英語の要旨は150語を目安とする。要旨は標題および著者名の次、目次の前に配置し、本文が日本語ないし中国語の論文では、日本語の要旨、英語の要旨の順に、本文が欧文の場合は逆の順に、それぞれ配列する。

キーワード

論文の内容を代表する5語以内のキーワードを、日本語および英語で添付する。

注

注は論文全体で通し番号を付ける。本文中での注番号は、半角の数字と丸括弧で記入する。

例 ……である3)。

注の内容文は、本文の次、(謝辞がある場合は)謝辞の次、参考文献リストの前に一括して、通し番号順に記入する。

注は原則として後注とする。

文献参照の表記

本文および注で参考文献を指示するには、丸括弧で括って、著者の姓、半角スペース、文献刊行年次、コロン、引用ページ数の順に記す。コロンと引用ページ数は省いてもよい。

例 ……である(鳥居 1927: 468-469)。

一個所で参照する文献が複数ある場合は、異なる文献をセミコロンで区切って列挙する。

例 (秋葉・赤松 1935; 岡 1935: 58-72; Marcus and Fischer 1986)

同一著者の場合は刊行年を列挙する。

例 (鳥居 1913; 1927)

文献に言及すると同時に、その文献の著者への言及を文中に生かす場合は、文献刊行年次以下を丸括弧で囲ってもよい。

例 鳥居(1975: 468-469)は……であると指摘している。

論文中に参照する文献の中に、同姓の複数の著者がある場合は、漢字表記の著者名は姓名を記し、ローマ字表記の著者名は名前の頭文字を附記して、区別する。

例 (石田幹之助 1942; 石田英一郎 1951)

(Geertz, C. 1960; Geertz, H. 1963)

同一著者の参考文献に、同一年次に刊行されたものが複数ある場合は、刊行年次にアルファベットをつけて区別する。

例 (鳥居 1913a; 1913b)

参考文献リスト

配列順——原稿末尾の参考文献リストには、本文および注で言及した文献の詳細な書誌情報を、著者のアルファベット順に、同一著者の文献が複数あれば刊行年次順に、列挙する。同一著者の同じ刊行年の複数の文献を参照している場合には、刊行年次にアルファベットをつけて区別し、アルファベット順に配列する。

著者ないし編者は、姓、名の順に記す。日本語の翻訳書の場合、原著者を漢字ないしカタカナで記す。姓をカタカナで表す著者・編者は、姓と名を読点で区切り、名は頭文字のみとする。

欧文文献では、見出しとなる著者ないし編者のみ、姓、名の順に記し、両者の間をコンマで区切る。共著、共編の場合、二番目以後の著者・編者は名、姓の順に記す。編書の編者は、単編は(ed.)、共編は(eds)で表す。

以下、記入すべき書誌情報の要領を日本語文献、欧文文献の2種にわたって述べる。中国語ないし朝鮮語の文献は日本語文献に準ずる。

書誌情報——参考文献リストには、雑誌論文であれば著者、刊行年次、論文の標題、(翻訳であれば)翻訳者名、収録雑誌、巻号、収録ページ、(必要に応じて)雑誌の出版地および出版社を記す。

単行本の論文集に収録された論文であれば、著者、刊行年次、論文名、(翻訳であれば)翻訳者名、収録書の著者ないし編者、書名、(収録書が翻訳であれば)翻訳者名、収録ページ、

出版地および出版社を記す。欧文の場合は、収録書を In で指示し、編者名は全て名、姓の順に記す。収録書のそれ以外の情報は、下記の単行本の書誌情報の要領に従う。

日本語の論文の場合、論文名はカギ括弧、収録雑誌名（ないし収録書名）は二重カギ括弧で括る。雑誌の巻号は原則としてアラビア数字を用いる。

欧文文献では、論文の標題はローマン体、収録書名（ないし雑誌名）はイタリック体で区別する（印刷原稿上でのその指定方法は後述する）。論文、書名（ないし雑誌名）はいずれも、先頭の文字のみを大文字で、その他は小文字で記す。ただし、固有名詞は頭文字を大文字にする。

単行本は、著者ないし編者、書名、（翻訳であれば）翻訳者名、出版地および出版社を記す。

当該書物がシリーズ中の一冊である場合は、シリーズ名を書名に続けて丸括弧内に記す。欧文文献の場合、シリーズ名はローマン体とする。

例

雑誌論文

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13(4), 311-330.

Keesing, R. M.

1989 *Creating the past: custom and identity in the contemporary Pacific. The contemporary Pacific* 1(1 & 2), 19-42.

論文集所収の論文

鳥居龍蔵

1975 「日本人類学の発達」鳥居龍蔵『鳥居龍蔵全集』pp. 459-470, 東京：朝日新聞社（初出は1927年）。

バーンズ, J. A.

1981 「ニューギニア高地におけるアフリカン・モデル」笠原政治訳、村武精一編『家族と親族』pp. 116-134, 東京：未来社。

Schneider, D.

1976 *Notes toward a theory of culture.* In K. Basso and H. Selby (eds) *Meaning in anthropology*, pp. 197-220. Albuquerque: University of New Mexico Press.

Ardener, Edwin W.

1985 *Social anthropology and the decline of modernism.* In J. Overing (ed.) *Reason and morality* (A.S.A. monographs 24), pp. 47-70. London and New York: Tavistock Publications.

単行本

柳田国男編

1935 『日本民俗学』東京：岩波書店。

Clifford, J. and G. E. Marcus (eds)

1986 *Writing culture: the poetics and politics of ethnography.* Berkeley, Los Angeles and London: University of California Press.

翻訳書

エリアーデ, M.

1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術』堀一郎訳、東京：冬樹社。

van Gennep, Arnold

1960 *The rites of passage*, translated by M. B. Vizedom and G. L. Cafee. Chicago: The University of Chicago Press.

4. 図表および写真

図、表ごとに、「図1」、「表1」の形式で通し番号をつけ、それぞれの標題、説明、出典等を記す。図のカラー印刷を必要とする場合は、編集委員会に相談してください。

写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものを用いる。図表に準じて写真ごとに通し番号、説明、撮影者名をつける。カラー写真を必要とする場合は、編集委員会に相談してください。

5. 著作権等

文献の引用に著作権・著作権所有者の許可が必要な場合、あるいは図版ないし写真を掲載するために著作権の取得が必要な場合は、寄稿者が手続きを行ない、費用を負担する。

6. 原稿の媒体

寄稿原稿は横書きとし、原則としてフロッピーに収録したファイルと、A4判の用紙に印刷した原稿との双方を提出する。

手書き原稿による寄稿を希望する場合は、事前に編集委員会に相談してください。

ファイル形式

ファイルは可能な限り、アスキーテキスト（段落毎の改行）で収録したものを提出する。ファイルには地の文章のみを収録し、例えばインデントのためのタブ、スペースなど、書式情報は含まれていないほうがよい。

原稿作成に使用したワープロのファイル形式によって収録したファイルを、同じフロッピーに添付してもよい。

ファイルの構成

原稿のファイルには、標題、著者名、要旨、キーワード、目次、本文、（必要に応じて）謝辞、注、参照文献リストの順に収録する。

注の作成および本文への注の記号の記入は、ワープロの注の機能を用いず、本文とは別個に、（謝辞がある場合は）謝辞とともに、注としてまとめて収録する。

印刷原稿

印刷原稿はA4版の用紙を使用し、寄稿者の希望する書式を反映させた印面で印刷する。

注の記号を手書きの赤線で囲み、図表写真の挿入箇所、アスキーファイルで表現し得ない書式上の指定（ルビ、特殊な文字、記号、欧文のイタリック体の指定等）を、手書きで赤で記入する。欧文のイタリック体は赤の下線で示す。

ファイル原稿に反映し得なかったその他の書式情報も、手書きで赤で書き込む。

図表

図表は各図表ごとに別紙に作製し、一括して印刷原稿に添付する。添付する図表は、版下として使用しうる質のものであることが望ましい。編集委員会にトレースを委ねる図は、その旨を注記する。

国立民族学博物館研究報告 総目次

1 巻 1 号

梅棹 忠夫 創刊のことば

論 文

- 黒田 悦子 ミへの儀礼——メキシコの土着宗教とカトリック——…………… 1
佐々木高明・深野 康久
ルカイ族の焼畑農業——その技術と儀礼についての調査報告——…………… 33
中村俊亀智 シロフミ田下駄の諸系列——用具論的に——…………… 126

資料・研究ノート

- 加藤 九祚 中川五郎治の見たシベリア諸民族…………… 152
EGUCHI, Paul Kazuhisa Performers of Fulbe Oral Arts in Diamaré Prefecture…………… 159

調査研究活動報告

- 中山 和芳 ニューギニアの収集品から…………… 169
大給 近達 ヨーロッパ諸国の博物館視察（1）…………… 177
和田 祐一 ヨーロッパの調査収集（1）——フィンランド——…………… 181
端 信行 西アフリカ収集調査雑記…………… 187
祖父江孝男 HRAF との協力体制はじまる…………… 194
梅棹 忠夫 『国立民族学博物館研究報告』のあり方について…………… 204

1 巻 2 号

論 文

- 松原 正毅 トルコの村の食事体系…………… 219
藤井 龍彦 中央アンデス・ワヌコ地域の石器文化…………… 272
加藤 九祚 間宮林蔵の見たギリヤク族（1）…………… 305
EGUCHI, Paul Kazuhisa Mbum Circumcision Songs…………… 334

資料・研究ノート

- KURODA, Etsuko Apuntes sobre la Historia de los Mixes de la Zona Alta,
Oaxaca, México…………… 344
石毛 直道 Kumupa の塩——イリアン・ジャヤ中央高地の物質文化（1）——…………… 357
泉 幽香 視覚的思考をめぐる覚え書——構造主義の交換論的視点から——…………… 374

調査研究活動報告

- 杉本 尚次 トーレス海峡諸島調査記…………… 386
石森 秀三 オセアニア民族資料収集調査記…………… 400
藤井 龍彦 中南米研究調査の旅から…………… 424

藤井 知昭	ゾロアスター教徒の衣裳——西アジア収集の回想——	427
吉田 集而	インドネシア民族資料調査収集旅行ノートから	431
田邊 繁治	タイ稲作社会の調査より——タマサート大学——	444

1巻3号

論文

関本 照夫	中部ジャワ農村の儀礼的食物交換——スラカルタ地方の事例より——	457
松澤 員子	東部パイワン族の家族と親族 —— <i>ta-djaran</i> (1つの路) の概念を中心として——	505
端 信行	ドゥル族の季節観と農作業暦	537
藤井 龍彦	中央アンデス Middle Horizon の成立について	565

資料・研究ノート

吉田 集而	トバ・バタック族の親族呼称について	592
大胡 修	島根半島一漁村の親類	604
石毛 直道	交通手段——イリアン・ジャヤ中央高地の物質文化(2)——	618

調査研究活動報告

宮本 繁雄	アメリカ合衆国の自然史博物館	637
大給 近達	ヨーロッパ諸国の博物館視察(2)	657
櫻井 哲男	韓国の民俗音楽調査から——研究教育機関等の訪問を中心に——	660

1巻4号

論文

田邊 繁治	ノーンパーマンの灌漑体系 ——ランナータイ稲作農村の民族誌的研究(1)——	671
大塚 和義	アイヌのキテ(回転式離頭銚)の諸系列——形態分類と編年——	778

資料・研究ノート

竹村 卓二	ヤオ族の姓と命名法	823
中村俊亀智	東北地方タケカゴ細工の基調 ——日本列島におけるカゴ細工の諸系列(1)——	847
吉田 集而	ウロス——トバ・バタック族の布について——	868

調査研究活動報告

大給 近達	ヨーロッパ諸国の博物館視察(3)	884
端 信行	サン・ルイ断章——在外研究活動の記録——	887
梅棹 忠夫	国立民族学博物館における研究のあり方について	896

2巻1号

論文

- 祖父江孝男 文章完成法テストよりみたイタリア人のパーソナリティ
——日本人およびアメリカ人との比較分析—— …………… 1
- 君島 久子 竜神（竜女）説話と竜舟祭（1） …………… 34

資料・研究ノート

- 櫻井 哲男 民俗音楽の概念についてのひとつの試み …………… 63
- 宮本 勝 ハヌヌー・マンギャン社会の構成について …………… 84
- 中山 和芳 ニューギニア高地における一時的狂気の構造 …………… 123
- 杉本 尚次 九州地方の民家研究展望 …………… 141
- 中村俊亀智 関東地方のタケカゴ細工の展開
——日本列島におけるカゴ細工の諸系列（2）—— …………… 172
- 藤井 龍彦 中央アンデスのチャンカイ文化と天野博物館について …………… 196

調査研究活動報告

- 和田 正平 東アフリカ収集調査ノートより …………… 227

2巻2号

論文

- 須藤 健一 ミクロネシアの養取慣行——族制，土地所有，分配体系との関連で—— …………… 245
- OMORI, Motoyoshi Violence and Legal Sanction in an East African Town …………… 282

資料・研究ノート

- 石森 秀三 マオリ研究の系譜とその展開 …………… 306
- 伊藤 幹治 慶良間群島の祭団連合——沖縄の民俗宗教ノート（1）—— …………… 336
- 中村俊亀智 中部地方タケカゴ細工の諸相
——日本列島におけるカゴ細工の諸系列（3）—— …………… 351

調査研究活動報告

- 黒田 悦子 アメリカ合衆国にラテンを求めて
——ニュー・メキシコからメキシコへの旅—— …………… 377
- 加藤 九祚 ブルガリア民族学の旅 …………… 393
- 石毛 直道 国立民族学博物館ハルマヘラ調査隊概報 …………… 423

2巻3号

論文

- 吉田 集而 ハルマヘラ島における民俗方位の構造 …………… 437
- 松山 利夫 野生堅果類，とくにトチノミとドングリ類のアク抜き技術とその分布 …………… 498

資料・研究ノート

大給 近達	人間関係における認知の形式に関する一考察 ——アマゾン・カマユラ族の親族事例——	541
中村 基衛	ミクロネシア・プルスク島における家屋と住まいかた	565
藤井 龍彦	中央アンデス地帯の染織文化——その文化史的観点からの一考察——	590
中村俊亀智	近畿地方のタケカゴ細工——日本列島におけるカゴ細工の諸系列（4）——	605

2巻4号

論文

栗田 靖之	物質文化から見た現代家庭	643
秋道 智彌	伝統的漁撈における技能の研究——下北半島・大間のババガレイ漁——	702

資料・研究ノート

黒田 悦子	守護聖人の祭りにみられる民俗芸能について ——メソ・アメリカの例の比較の試み——	765
伊藤 幹治	古宇利島の聖地と折目——沖縄の民俗宗教ノート（2）——	790
中村俊亀智	中国地方タケカゴ細工の一側面 ——日本列島におけるカゴ細工の諸系列（5）——	806
加藤 九祚	コスタ・ヘタグロフ著『オーソバ』——オセチア人の民族学的概説——	828

3巻1号

友枝 啓泰	セニャル儀礼の増殖表象——中央アンデスの家畜増殖儀礼——	1
櫻井 哲男	新・楽器分類法	40
垂水 稔	結界について（I）——日本の境界標示装置——	63
杉本 尚次	ハモンド島（トレス海峡）の村落と住居	95

3巻2号

佐々木高明	新粟のチマキと豊猟の占い——ルカイ族・パイワン族のアワ祭り抄——	119
石毛 直道	ハルマヘラ島, Galela 族の食生活	159
山本 順人	ハルマヘラ島, Galela 族の食生活調査データのコンピュータ処理について ——食生活分析システム“MEAL”——	271
祖父江孝男・大給 近達・中村俊亀智・大塚 和義	物質文化研究の方法をめぐって	280

3巻3号

関本 照夫	農業をめぐる人のカテゴリーと相互関係——中部ジャワの一事例——	345
吉田 集而	トバ・パタック族における病気の民俗分類	416
松澤 員子	Limau 村の家族, 親族, 村落の構造——ハルマヘラ調査ノート——	465
大胡 修	Limau 村の漁撈活動——ハルマヘラ調査ノート——	486

端 信行	サンゴ礁海域における磯漁の実態調査中間報告（１） ——石垣市登野城地区漁民社会の若干の分析——	520
須藤 健一	サンゴ礁海域における磯漁の実態調査中間報告（２） ——石垣市登野城地区漁民の潜水漁法——	535
黒田 悦子	ミへの歴史と内なる“歴史” ——研究ノート，Apuntes sobre la Historia de los Mixes de la Zona Alta， Oaxaca, México 後記——	557
RUDDLE, Kenneth	The Geographical Distribution of Sago-Producing Palms	572
EGUCHI, Paul Kazuhisa	A Brief Account of the Life of Zigla according to Musgum Tradition	595

3 卷 4 号

竹村 卓二	過山ヤオ族の二つの起源神話〈槃瓠〉と〈渡海〉 ——種族的アイデンティティの生成と淘汰——	615
阪本 寧男	台湾南部山地およびパタン諸島のアワの特性とその民族植物学的考察	682
大貫 良夫	アンデス高地の環境利用——垂直統御をめぐる問題——	709
和田 完	オロッコ族の病気に対する呪符	734
垂水 稔	結界について（Ⅱ）——境界的結界——	749
ISHII, Yoneo (ed.)	A Preliminary Bibliography for the Study of Customary Laws of Southeast Asia and Taiwan	780

4 卷 1 号

松山 利夫	明治初期の飛驒地方における堅果類の採集と農耕	1
杉田 繁治	民族学研究における情報処理——コンピュータ民族学について——	24
川瀬 豊子	Haxāmaniš- 朝初期における小家畜管理	43
杉本 尚次	九州山地の民家——椎葉・米良地域を中心に——	79
伊藤 幹治	沖縄本島北部農村の「門中」とその論理 ——沖縄の民俗宗教ノート（３）——	117
中村俊亀智	国立民族学博物館所蔵の東南アジア島嶼部採集のカゴ細工について	130

4 卷 2 号

石森 秀三	サタワル島の数占い——その基本体系について——	157
須藤 健一	カヌーをめぐる社会関係 ——ミクロネシア，サタワル島の社会人類学的調査報告——	251
秋道 智彌	明治初期・飛驒地方における生産魚類の分布論的研究	285
中村俊亀智	国立民族学博物館所蔵の巻きカゴ細工，とくに国内資料について	340
小川 了	西アフリカ収集調査行から	358

4 卷 3 号

大胡 修	島根半島一漁村における漁撈活動	379
------	-----------------	-----

加藤 九祚	モンゴル人民共和国の伝統的物質文化 —ビャトキナ著『モンゴル人民共和国のモンゴル人』から—	404
坪郷 英彦	国立民族学博物館所蔵の第一次東南アジア稲作調査団採集の カゴ細工について	469
杉本 尚次	ヨーロッパの民俗学・民族学博物館—1978年夏の訪問記録から—	493
和田 正平	国立民族学博物館西アフリカ学術調査概報	525

4巻4号

福井 勝義	色彩の認知と分類—東アフリカの牧畜民 Bodi 族—	557
黒田 悦子	復活祭をめぐる儀礼の過程の変形と意味 —メソ・アメリカの民俗的想像力との出会い—	666
守屋 毅	家元制度—その形成をめぐって—	709
野村 雅一	「文明化」についての試論（上） —ノルベルト・エリアス『文明化の過程』に寄せて—	738
大丸 弘	現代和服の変貌—その設計と着装技術の方向に関して—	770
中村俊亀智	国立民族学博物館所蔵の曲物細工について	798
Kenneth RUDDLE	The Crisis in Dryland Pastoral Economies: An Essay in Applied Human Ecology	821

5巻1号

増田 昭三	ペルー南部における海岸と高地の交流	1
大貫 良夫	南部ペルーのアンデス西斜面における環境利用	44
藤井 龍彦	南部ペルーアンデス西斜面地域の先スペイン文化	83
山本 紀夫	中央アンデス南部高地の環境利用 —ペルー、クスコ県マルカパタの事例より—	121
佐藤 信行	中央アンデス南部農村の家族、親族とアイユウ —姻族 (qata/q'aćun) を中心に—	190
友枝 啓泰	中央アンデスの民話とアマゾンの神話—栽培植物・労働・死の起源—	240
PEASE G. Y., Franklin	Las Relaciones entre las Tierras Altas y la Costa del Sur del Perú —Fuentes documentales—	301

5巻2号

中牧 弘允	ハワイにおける日系霊能者と民間信仰—オアフ島の女性霊能者の事例—	317
関本 照夫	二者関係と経済取引—中部ジャワ村落経済生活の研究—	376
長野 泰彦	チベット語の色彩語彙	409
及川 昭文・宮本 定明・小山 修三	貝塚データベース—その作成と応用—	439
八村廣三郎	民族学データの統計的解析のための汎用ソフトウェアシステム —民具データへの応用を中心として—	471

杉本 尚次	ヨーロッパ民家の民族学的・地理学的研究 ——野外博物館の民家を中心として——	493
AKIMICHI, Tomoya	A Note on Palauan Food Categories: <i>Odóim</i> versus <i>Ongráol</i>	593

5 卷 3 号

秋道 智彌	Satawal 島における伝統的航海術——その基本的知識の記述と分析——	617
煎本 孝	チペワイアンのトナカイ狩猟活動系——生態人類学的視点から——	642
小川 了	フルベ族の牧畜と農耕をめぐる諸問題 ——シュンゲルベ・グループの生業に関する民族誌的研究——	667
小山 修三	コーヒー・ドーナツ・プロジェクト ——心理の図形化手法についての研究ノート——	712
西村 綏子	国立民族学博物館所蔵の労働衣服——国内収集の上半衣について——	729
日浅治枝子	国立民族学博物館所蔵の労働衣服——国内収集の下半衣について——	751
山崎 光子	国立民族学博物館所蔵の労働衣服——とくに刺子の形態・染織の分析——	778
RUDDLE, Kenneth	A Preliminary Survey of Fish Cultivation in Ricefields, with Special Reference to West Java, Indonesia	801

5 卷 4 号

吉田 集而	指示詞にみられる空間分割の類型とその普遍性	833
山本 紀夫	アンデス地域, トトラの民族植物誌	951
須藤 健一	母系社会における忌避行動 ——ミクロネシア・サタワル社会の親族体系(1)——	1008
友枝 啓泰	セニャル儀礼の呪物イリャ——中央アンデスの家畜増殖儀礼——	1047

6 卷 1 号

栗田 靖之・八村廣三郎	海外駐在員の生活と意識調査報告	1
秋道 智彌	“悪い魚”と“良い魚”——Satawal 島における民族魚類学——	66
小川 了	フルベ族, ジェンゲルベ・グループの移牧に関する事例報告	134
森田 恒之	国立民族学博物館の展示と保存環境に関する検討 ——異常環境の発見を主として——	159
中村俊亀智	背中あての諸形態——国立民族学博物館博物館所蔵の標本資料によって——	183

6 卷 2 号

祖父江孝男	県民性再考 ——文章完成法テストにあらわれた日本人パーソナリティの地域差——	217
西田 正規	縄文時代の人間-植物関係——食料生産の出現過程——	234
重松真由美	チノギ賽神における祖上と神霊——韓国京畿道楊州郡K洞の事例——	256
伊東 一郎	言語的プリコラージュとしてのフォークロア ——ロシア・フォークロアにおける語源的文彩 (figura etymologica) ——	283

山崎 光子 国立民族学博物館所蔵のドンザ——形態、材質、染織の分析——…………… 319

6巻3号

小山 修三・松山 利夫・秋道 智彌・藤野 淑子・杉田 繁治
『斐太後風土記』による食糧資源の計量的研究…………… 363
大森 康宏 パリの日本人学校における文化背景の異なる生徒をめぐって…………… 597

6巻4号

須藤 健一・SAUCHOMAL, Sabino
カヌーと航海にまつわる民話
——ミクロネシア Satawal 島の伝統的航海術の外延——…………… 639
伊東 一郎 スラヴ人における人狼信仰…………… 767
黒田 悦子 生業、市、商人——オアハカ地方経済の中のミへ社会素描（メキシコ）——…………… 797
森田 恒之 文化遺物における製作技術調査法としての紫外線側光の利用について…………… 815
SAKURAI, Tetsuo The Classification of Musical Instruments Reconsidered…………… 824

7巻1号

杉本 尚次 トレス海峡地域の集落と住居…………… 1
周 達生 客家文化考——衣・食・住・山歌を中心に——…………… 58
馬淵卯三郎・八杉 佳穂
チャフルのインシル語歌謡…………… 139
WATANABE, Hitoshi Systematic Classification of the Pit Dwellings of Modern
Food-gatherers from an Ecological Point of View…………… 169

7巻2号

垂水 稔 ムラという結界——滋賀県高島郡朽木村の事例をめぐって——…………… 197
重松 伸司 南インドの右手・左手集団と祭礼騒擾
——カースト伝承と儀礼を中心に——…………… 303
杉藤 重信 家屋の建築・修復に関する伝統的知識と技術
——ミクロネシア・エラート環礁の場合——…………… 349

7巻3号

和田 祐一 北ハルマヘラ諸語の子音対応とガレラ語の示す古音…………… 423
NAGANO, Yasuhiko A Historical Study of gLo Tibetan…………… 472
八杉 佳穂 マヤ文字の言語…………… 514
柴田 紀男 『ムラユ王統記』におけるマレー語動詞文の構造…………… 534
吉田 集而 会話場面における人の概念の類型論（I）
——人称代名詞の etic な成分の再考——…………… 550

荒井 芳廣	ブラジル北東部における民衆的小冊子 ——リテラトゥーラ・デ・コルデル——	585
藤野 淑子	明治初期における山村の食事と栄養 ——『斐太後風土記』の分析を通じて——	632
及川 昭文・VÉZINA, Raymond	博物館とコンピュータ	655

7巻4号

小川 了	フルベ語色彩語彙——色彩基礎語彙に関する一考察——	689
山本 紀夫	中央アンデスの根裁類加工法再考 ——とくにペルー・アンデスの水さらし技法をめぐって——	737
崎山 理	『マライ編年史』の代名詞——KWICにもとづく比較研究——	788

8巻1号

千葉 正士	法学における慣習法の概念	1
石井 米雄	タイの伝統法——『三印法典』の性格をめぐって——	18
北原 淳	『マンラーイ法典』における土地侵犯と所有	33
吉川 利治	東北タイ及びラオスの古代法—— <i>Kotmai Khosarat</i> を中心に——	51
中牧 弘允	日系キリスト教会の展開と日系キリスト教徒の意識 ——カリフォルニア州サクラメントの事例——	73
TACHIKAWA, Musashi	A Hindu Worship Service in Sixteen Steps, <i>Shoḍaśa-upacāra-pūjā</i>	104

8巻2号

畑中 幸子	部族社会における近代政治の過程	197
千葉 徳爾・三枝 幸裕	中部日本白山麓住民の季節的放浪慣行——牛首地区の事例を中心に——	253
吉田 集而	会話場面における人の概念の類型論（Ⅱ） ——その類型と類型の世界的分布——	307
庄司 博史	ウラル語族における等位表現の類型	424
小谷 凱宣	ペリンジアからみた新大陸文化起源の諸問題	489

8巻3号

黒田 悦子	庶民生活の論理と表現 ——スペイン、南部エストレマドゥーラの町の例から——	531
大塚 和夫	下エジプトの親族集団内婚と社会的カテゴリーをめぐる覚書	563
中村俊亀智	アチック・ミュージアムの足どり——収蔵原簿の分析から——	587
小川 了	「悪童物語」の展開	613
加藤 九祚	カザフ族の遊牧生活	653

8巻4号

大丸 弘	西欧人のキモノ認識	707
中村俊亀智	アチック民具研究の道すじ—収蔵状況とのかねあいにおいて—	839
小川 了	セネガルの舞踊と日常動作の関連に関する研究ノート	865

9巻1号

小山 修三・杉藤 重信	縄文人ロシミュレーション	1
中村俊亀智	アチック・ミュージアムのあとに —財団法人日本民族学協会附属民族学博物館のこと—	41
吉田 集而	会話場面における人の概念の類型論(Ⅲ)—類型の発達とその機構—	59
木村 法光	カザフの木工調度—その接着・接合について—	133
山本 真鳥	フレアタの地縁組織—サモア社会における称号システム的事例研究—	151

9巻2号

須藤 健一	サンゴ礁の島における土地保有と資源利用の体系 —ミクロネシア, サタワル島の事例分析—	197
秋道 智彌	ニューギニア低地・ギデラ族における小児の病気と治療	349
大塚 和夫	アッラー, 神, アラーの神—イスラームの日本の理解をめぐる一考察—	383
大森 康宏	民族誌映画の撮影方法に関する試論	421
Kenneth Ruddle	Normative Models and Human Behavior: Some Theoretical Issues in Household Resource Use	459

9巻3号

長野 泰彦	嘉戎語の動作の様態を示す接辞	483
永ノ尾信悟	古代インド祭式文献に記述された穀物料理	521
大丸 弘	衣服標本属性論—MCD 標本シソーラス—I 固有属性	533
大森 康宏	民族誌映画の編集にかかわる試論	571
柴田 紀男	文字使用の目的	593
小川 正広	ホメロスの詩と文字使用	609
佐藤 進	李朝の韻書と漢詩押韻の変革—文字使用政策の一例として—	631

9巻4号

秋道 智彌	サタワル島における伝統的航海術の研究 —島嶼間の方位関係と海域名称—	651
長野 泰彦	嘉戎語の人称接辞	711
梶 茂樹	多言語使用と手紙—ザイール共和国キヴ湖西岸の事例から—	747
安田 喜憲	環日本海文化の変遷—花粉分析学の視点から—	761
小林 致広	アステカ社会における衣裳と職務—アステカ王権に関する一考察—	799

中山 和芳	ボナベ島におけるキリスト教の受容をめぐる社会変化……………	851
-------	-------------------------------	-----

10巻1号

藤井 龍彦・友枝 啓泰	中央アンデスの農民と牧民の結婚 ——バンパマルカ教区（アプリマク県）婚姻登録の分析——……………	1
木村 秀雄	ボリビア北西部・アンデス東斜面のケチュア農村における環境利用 ——アマレテ村の事例——……………	43
八杉 佳穂	ユカテクマヤ語の正書法の歴史——マヤ人の文字使用との関連において——……………	93
中谷 英明	「スパン写本」の願望法語尾——仏教サンスクリット成立の一局面——……………	111
大丸 弘	現代和服の変貌Ⅱ——着装理念の構造と変容——……………	131

10巻2号

宮本 勝	ミンドロ島ハスノオ・マンヤン族の‘裁判人’……………	243
大塚 和夫	下エジプトのムスリムにおける結婚の成立過程 ——カリュービーヤ県ベンハー市とその周辺農村の事例を中心に——……………	273
細川 弘明	アンデス東斜面溪谷部，ケチュア農民の生業と交易活動……………	309
車 政弘	国立民族学博物館所蔵の韓国の収納家具——その技術とデザイン——……………	365
大林 太良	熊祭の歴史民族学的研究——学史的展望——……………	427
佐々木史郎	クマ祭に集まる人々 ——狩猟儀礼に表出するエヴェンキ族の社会構成原理について——……………	451
SEKINE, Yasumasa	“Pollution”, ”Purity” and ”Sacred”: The Ideological Configuration of Hindu Society……………	481

10巻3号

櫻井 哲男	巫俗儀礼の音——韓国済州島の事例から——……………	551
長野 泰彦	嘉戎語の能格性……………	575
西田 正規	中緯度森林の定住民……………	603
吉田 集而	パプアニューギニア，イワム族の農耕に関する民俗分類の予備的報告……………	615
大丸 弘・高橋 晴子	服装専門検索語辞書（MCD シソーラス）の構造……………	681
嶋本 隆光	12イマーム派シーア主義におけるイマーム・アリー的位置について ——イラン人ムスリムの場合——……………	725
森田 恒之	民族資料の展示におけるクールビームライト照明の影響について（1）……………	755
Kenneth Ruddle	Labor Supply and Demand in a Complex System: Integrated Agriculture-Aquaculture in the Zhujiang Delta, China……………	773

10巻4号

須藤 健一	ミクロネシアにおける母系制社会の変質 ——トラック語圏社会の出自集団の構造——……………	827
-------	---	-----

秋道 智彌	サタワル島における伝統的航海術の研究 ——洋上における位置確認方法とエタック (<i>yeták</i>) について——	931
小杉 泰	現代イスラームにおける宗教勢力と政治的対立 ——カイロにおけるアズハル=フセイン複合体とサラフィー主義——	959
永ノ尾信悟	ブラーフマナ文献の祭式解釈 ——古代インド季節祭 <i>Cāturmāsya</i> を例として——	1001
庄司 博史	チェレミス語とヴォチャーク語における引用小辞 ——ウラル諸語におけるチュルク的引用表現——	1069
中村俊亀智	民具研究の展開——1960年以後——	1103
清水 芳見	中東・北東アフリカに見られる憑霊信仰ザールの伝播経路に関する 一考察	1123
Kenneth Ruddle	Rural Reforms and Household Economies in the Dike-Pond Area of the Zhujiang Delta, China	1145

11巻1号

石毛 直道	東アジアの魚醬——魚の発酵製品の研究(1)——	1
伊藤 幹治	東北農村におけるキリスト教の受容	43
杉田 繁治	コンピュータ民族学序説	57
栗本 英世	雨と紛争——ナイル系バリ社会における首長殺しの事例研究——	103
八杉 佳穂	マヤ文字の分析 I ——ナランホー——	163
杉本 尚次	ヨーロッパの野外博物館——その民族学的・地理学的研究——	263
Kenneth Ruddle, Deng Hanzeng and Liang Guozhao	Energy Exchanges and the Energy Efficiency of Household Ponds in the Dike-Pond System of the Zhujiang Delta, China	323

11巻2号

崎山 理	オーストロネシア語族とパプア諸語の言語接触 ——とくに語順変化について——	355
関本 照夫	ジャワ神秘主義の民族誌	383
煎本 孝	ラダック王国史の人類学的考察——歴史-生態学的視点——	403
栗田 靖之	ブータン・ヒマラヤの生業形態の多様性	457
渡辺 仁	狩猟採集民集落平面形の体系的分類——社会生態学的・進化的研究——	489
君島 久子	中国文献にみる龍舟競渡——方志資料を中心として——	543

11巻3号

石毛 直道	東アジア・東南アジアのナレズシ——魚の発酵製品の研究(2)——	603
浅川 滋男	住空間の民族誌——中国江南の伝統的住居をめぐって——	669
古林 清一	近代エジプトにおけるスーフィー教団について	781

11巻4号

長野 泰彦	ネットワーク語の能格現象	811
西 義郎	現代チベット語方言の分類	837
周 達生	中国の高床式住居——その分布・儀礼に関する研究ノート——	901
Joseph M. Luyten	XVI and XVII Century Relationships among Portuguese and Dutch and their Reflexions in Japan	979
Kenneth Ruddle	The Supply of Marine Fish Species for Fermentation in Southeast Asia	997

12巻1号

RUDDLE, Kenneth	The Ecological Basis for Fish Fermentation in Freshwater Environments of Continental Southeast Asia: With Special Reference to Burma and Kampuchea	1
藤井 龍彦	中央アンデスの定期市——ボリビア領ラパス県高地部の事例——	49
黒田 悦子	メキシコの仮面——芸能による分類の試み——	129
大丸 弘・高橋 晴子	専門図書館における非図書資料の位置づけ——服装情報サービスの基本技術——	175
HAYASHI, Takao	Ritual Application of Mensuration Rules in India: An Edition of Ganeśa's <i>Kuṇḍasiddhyudāhṛti</i> with Mathematical Commentary	199

12巻2号

石毛 直道・ケネス ラドル	東南アジアの魚醬——魚の発酵製品の研究(5)——	235
吉本 忍	手織機の構造・機能論的分析と分類	315
出口 晶子	剝船 <small>くりぶね</small> の発達諸形態の分類と地域類型——日本とその隣接地域を中心として——	449
和田 完	アイヌのお産——和田文治郎遺稿——	499
大塚 和義	19世紀中葉以前におけるアイヌの通過儀礼——松浦武四郎筆画『蝦夷風俗画誌』稿本を中心に——	513

12巻3号

佐々木高明	東南アジアの焼畑における陸稲化現象——その実態と類型——	559
松山 利夫	アーネムランド・アボリジニ、ジナン族の狩猟と食物規制	613
瀬川 昌久	械闘と村落連合——香港新界中西部5郷の事例より——	647
片倉もとこ	異文化環境におけるムスリム——カナダにおけるアラブムスリム社会の形成——	681
守屋 毅	ビーボディー科学アカデミーの成立——モース研究の一環として——	727
水谷 忠士・君塚 明光・ケネス ラドル・石毛 直道	魚醬の化学分析と「うま味」の文化圏——魚の発酵製品の研究(6)——	801

12巻4号

八杉 佳穂	マヤ文字の分析Ⅱ——パレンケ——	871
菅原 和孝	セントラル・カラハリ・サンにおける訪問者と居住者の社会関係と 対面相互行為——!Koi !kom 定住地での訪問活動の観察より——	1031
江口 重幸	滋賀県湖東一山村における狐憑きの生成と変容 ——憑依表現の社会-宗教的, 臨床的文脈——	1113
庄司 博史	文字創製・改革にみた中国少数民族政策	1181

13巻1号

山下 晋司	国家的過程のなかの民族文化 ——インドネシア, トラジャにおける伝統的文化の現代的位相——	1
小山 修三	オーストラリア・アボリジニ社会再編成の人口論的考察	37
古谷 嘉章	クーラとタンボール——北部ブラジルの憑霊カルトにおける成巫過程——	69
秋道 智彌	航海術と海の生物——マイクロネシアの航海術における Pwukof の知識——	127

13巻2号

杉島 敬志	舞台装置としての家屋 ——東インドネシアにおける家屋のシンボリズムに関する一考察——	183
高谷 紀夫	祭祀と地域性——ビルマ・ラングーン研究から——	221
深澤 秀夫	遍在する邪術, 見えない邪術 ——北部マダガスカル ツィミヘティ族社会における ある邪術告発についての一考察——	253
渡辺 仁	北太平洋沿岸文化圏——狩猟採集民からの視点Ⅰ——	297
斎藤 晨二	「ヤクトと家畜」の原像を求めて——オロンホを読む——	357
石毛 直道・崎山 理	魚醬とナレズシの名称——魚の発酵製品の研究(7)——	383
松山 利夫	アーネムランド・アボリジニ, ジナン族の星まつり ——国立民族学博物館海外映像音響資料収集の記録——	407

13号3巻

田中 雅一	カーリー女神の変貌——スリランカ・タミル漁村における村落祭祀の研究——	445
足立 明	シンハラ農村の労働交換体系	517
和田 正平	トーゴ北部諸族の技術誌をめぐる諸問題 ——パレオニグリティックを中心に——	583
林 隆夫	方陣の歴史——16世紀以前に関する基礎研究——	615

13巻4号

大林 太良	夸父と造父——構造分析の試み——	727
朝倉 敏夫	韓国祖先祭祀の変化——都市アパート団地居住者を中心に——	741

櫻井 哲男	済州島における歌の形成——音から音楽へ——	787
松園万亀雄	子の監護と婚資返却——グシイにおける離婚訴訟の分析——	807
竹沢尚一郎	「水の精霊」とイスラム——ボソ族における社会変化と宗教変化——	857
Michael L. Sherard	Preliminary Remarks on the Phonological Implications of Word Play in Modern Shanghai	897

14巻 1号

林 行夫	ダルマの力と帰依者たち——東北タイにおける仏教とモータム——	1
小馬 徹	両手の拳, 社会, 宇宙 ——手の指による数の指示法に組み込まれたキプシギスのコスモロジー——	117
黒田 悦子	チカーノの来た道——その歴史的経緯——	167
石毛 直道	魚醬の起源と伝播——魚の発酵製品の研究(8)——	199

14巻 2号

八杉 佳穂	中米の言語の語順の類型論的研究	259
永ノ尾信悟	Mahādevapūjā——Mithilā 地方の事例報告——	379
塚田 誠之	中国広西のチュアン(壮)族・ヤオ(瑤)族と漢族との 政治=文化的関係の比較考察——1368-1949年における——	453

14巻 3号

八杉 佳穂	中米諸語の数体系	519
佐々木史郎	アムール川下流域諸民族の社会・文化における清朝支配の影響について	671

14巻 4号

松山 利夫	アーネムランド・アボリジエの生活史 ——ジナン族ガマディ・アウトステーションに居住する2人の男性の事例——	783
片倉もとこ	異文化環境のアラブムスリム ——ヴァンクーヴァーのエジプト人ムスリムの事例研究——	821
Luis Millones	En Busca de Santa Rosa: Reflexiones en Torno a una Biografía Duradera	891
Jorge A. Flores Ochoa	La Fiesta de los Cuzqueños: la Procesión del Corpus Christi	909

15巻 1号

吉本 忍	インドネシアにおける手織機の類型論的研究——(1)形式と分布——	1
小馬 徹	死と蘇生——ケニアのテリック人とティリキ人の死の文化の変遷——	115
八杉 佳穂	中米諸語の序数詞	205
西 義郎	ヒマラヤ諸語の分布と分類(上)	265

15巻2号

藤井 龍彦	ボリビアの農民——農民の「行動の記録」の分析(その1)——	349
田中 雅一	司祭と霊媒 ——スリランカ・タミル漁村における村落祭祀の分業関係をめぐって——	393
佐久間留理子	インド密教の図像学的資料(1) ——『サーダナ・マラー』における獅子吼観自在の成就法——	511

15巻3号

杉島 敬志	リオ族における農耕儀礼の記述と解釈	573
庄司 博史	サーミ民族運動における言語復権の試み	847

15巻4号

黒田 悦子	フェリアの変貌 ——スペイン、エストレマドゥーラの家畜・産業・祝祭市——	917
久保 正敏	歌謡曲の歌詞に見る旅——昭和の歌謡史・私論——	943
Toshifumi Gotō	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 1. <i>am</i> , 2. <i>ay/i</i> , 3. <i>as/s</i>	987
森 雅秀	インド密教儀礼における水	1013
Shunzo Onoda	Abbatial Successions of the Colleges of gSang phu sNe'u thog Monastery	1049
Musashi Tachikawa	A Study of the <i>Vajradhātu-maṇḍala</i> (1): Modern Line-drawings depicted according to the <i>Niṣpannayogāvalī</i>	1073

16巻1号

Tomoya Akimichi and Osamu Sakiyama	<i>Manus Fish Names</i>	1
西 義郎	ヒマラヤ諸語の分布と分類(中)	31
大塚 和夫	ナイル川流域における土地利用と灌漑農業をめぐる社会的諸関係 ——北スーダン・ナイル県の一村落の事例報告——	159

16巻2号

森 明子	オーストリア農村における「家の墓」と女性のサービス	223
佐々木史郎	アムール川下流域とサハリンにおける文化類型と文化領域 ——レーヴィン、チェボクサロフの「経済・文化類型」と 「歴史・民族誌的領域」の再検討——	261
Yoshiho Yasugi	A Study of the Mixe Language of the Eighteenth Century: <i>Confesonario en lengua Mixe</i> by Quintana	311

16巻3号

藤井 龍彦	ボリビアの農民——農民の「行動の記録」の分析（その2）——	521
小長谷有紀	モンゴルにおけるウマ、ウシ、ヒツジの搾乳儀礼 ——祝詞にもとづく再構成の試み——	589
中山 和芳	首長制とキリスト教——ミクロネシア、ポーンベイ島とコジャエ島の事例——	633
Toshifumi Gotō	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 4. <i>dogh/dugh/doh/duh</i> , 5. <i>sav/su</i> , 6. ¹ <i>savⁱ/sū</i> , 7. ² <i>(savⁱ/)sū</i>	681

16巻4号

崎山 理	マダガスカルの民族移動と言語形成 ——民俗語彙・植物名称の意味的変遷から——	715
近藤 雅樹	紀年銘唐箕の形態分類	763
宮脇 幸生	モロコシの多様化選択と品種の生成 ——エチオピア西南部におけるクシ系農牧民エルボレの事例から——	843

17巻1号

山下 晋司	「劇場国家」から「旅行者の楽園」へ ——20世紀バリにおける「芸術-文化システム」としての観光——	1
松田 凡	採取民コエグの歌とダンス ——エチオピア西南部、オモ川下流平原の民族間関係——	35
稗田 乃	コエグの人と魚——環境認識の習得——	97
Tomoya Akimichi	The Surviving Whale-Tooth: Cultural Significances of Whale Products in Oceania	121
Luis Millones y Hiroyasu Tomoeda	La Danza de la Degollación del Inca	143

17巻2号

塚田 誠之	チュワン族の年中行事に関する史的考察——成立過程を中心に——	169
尹 紹 亭	基諾族の刀耕火種——兼与云南其它刀耕火種民族的比較——	253
瀬川 昌久	香港新界における宗族の発展と墓地風水——族譜を通じた分析——	305
高橋 慶治	現代チベット語における動詞の分類	343
佐藤 寛	「国民の出稼ぎ現象」の社会・経済的影響——北イエメンの20年——	369

17巻3号

清水 昭俊	永遠の未開文化と周辺民族——近代西欧人類学史点描——	417
江口 一久	カメルーン北部・フルベ族の挨拶の言語表現	489
チャティップ・ナートスパー	タイにおける共同体文化論の潮流	523
Onuigbo G. Nwoye	An Overview of Igbo Oral Literature	559
Galina V. Zubko	Au sujet de l'origine des Peuls, d'après les légendes	601

17巻4号

Yoshiho Yasugi	An Areal-Typological Study of Phonological Systems of Middle American Indian Languages	627
朝倉 敏夫	現代韓国社会における〈伝統文化〉の研究の現状と展望	809
Dai Qingxia	An Observation on the Genesis and Development of Tibeto-Burman Tones	851

18巻1号

崎山 理	オセアニア・琉球・日本の国生み神話と不完全な子 ——アマンの起源——	1
端 信行	カメルーン高地農民の経済生活——その変容のメカニズム——	15
田中 雅一	漁業儀礼考——スリランカ・タミル漁村における地曳網漁をめぐって——	47
日比野光敏	近江のフナズシの「原初性」 ——わが国におけるナレズシのプロトタイプをめぐって——	99
Toshifumi Gotō	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 8. <i>ard/rd</i> , 9. <i>iṣ</i> , 10. <i>ukṣ</i> , 11. <i>eṣ/iṣ</i> , 12. <i>eṣⁱ/iṣⁱ</i> , 13. <i>ok/oc/uc</i> , 14. <i>kaṇ</i> , 15. <i>vakṣ/ukṣ</i>	119
Catherine VerEecke	Conflict and Continuity in an African-Islamic Polity: Adamawa Emirate (Nigeria)	143

18巻2号

杉島 敬志	二種類の植物隠喩——リオ族における二重出自と非対称縁組——	183
名久井文明	東日本における樹皮利用の文化——加工技術の体系と伝統——	221
黄 才 贵	侗族住居空間構成的調査報告	303
Paul Hockings	Ethnic Identity in a Complex Society: The Badaga Case	347

18巻3号

南 真木人	魚毒漁の社会生態——ネパールの丘陵地帯におけるマガールの事例から——	375
松山 利夫	オーストラリア連邦と先住民アボリジニ ——アボリジニ政策と人々の生活体験に関するノート——	409
太田 好信	オリエンタリズム批判と文化人類学	453
Etsuko Kuroda	Los Mixes ante la Civilización Universal: Reseña de las Observaciones y Reflexiones sobre los Cambios de la Sierra Mixe en los 1990s	495

18巻4号

秋道 智彌	航海術と海の空間認識——中央カロリン諸島・Satawal 島における事例——	543
久保 正敏・大島 新一・日比野光敏・和田 光生	篠田資料・鮭アンケートの予備的分析	593

西川 麦子	バングラデシュ農村における一方的贈与と社会関係 ——タンガイル県, M 村のムスリム集落の事例より——	649
-------	--	-----

Said A. M. Khamis	From Oral to Written Form: A Tentative Study of the Development of Swahili Poetry	697
-------------------	--	-----

19巻 1号

崎山 理	ヒリモトゥ語の類型：辞順と後置詞 ——KWIC の資料に基づく通言語的研究——	1
後藤 明	ハワイ諸島の国家形成と人口論的基盤	19
轟 莉莉	中国農民社会における儒教の影響の実態 ——東北地方の実地調査に基づいて——	61
金 尚寶	東アジアにおける儀礼的饗宴——その構造の比較研究——	95

19巻 2号

安村 直己	植民地期メキシコにおけるインディオ騒動の政治経済学 ——1774年トラルマナルコ村(チャルコ地方)の事例——	173
永渕 康之	1917年バリ大地震——植民地状況における文化形成の政治学——	259
慶田 勝彦	ギリアマにおける妖術告発とパバイヤのキラホをめぐる噂	311

19巻 3号

林 勲男	フィーとウダ・ラースあるいは骨と肉 ——ベダムニ族の社会構造と世界観——	359
岸上 伸啓・スチュアート ヘンリ	現代ネツリック・イヌイット社会における社会関係について ——カナダ国北西準州ベリーベイ村の事例を中心に——	405
加藤 隆浩	ペルー・クスコ市におけるクルス・ペラクイの変容	449
Komei Hosokawa	Retribalization and Language Mixing: Aspects of Identity Strategies among the Broome Aborigines, Western Australia	491

19巻 4号

大塚 和義	ニヴフのアザラン猟と送り儀礼	543
小門 典夫	涼山彝族の口誦詩にみえる漢族のイメージ	587
Chan Kwok Bun and Claire Chiang See Ngoh	Values and Chinese Immigrant Entrepreneurship in Singapore	633

20巻 1号

Osamu Sakiyama	Decipherment and Studies of Early Palauan Word-Lists Collected since the Eighteenth Century	1
----------------	--	---

徐 平	羌村社会结构分析	49
James A. Matisoff	Sino-Tibetan Numerals and the Play of Prefixes	105

20巻2号

Eisei Kurimoto	Coping with Enemies: Graded Age System among the Pari of Southeastern Sudan	261
大林 太良	中国辺境諸民族の文化と居住地 ——エーバーハルト説の紹介と評価(そのⅠ. 概観)——	313
井口 淳子	中国・口承長篇物語のテキストと語り ——語りもの「楽亭大鼓」にもとづいて——	357

20巻3号

園田 直子	スプリングラー事故で冠水した衣類等に施した緊急保存処置に関する報告 ——阪神・淡路大震災による被災資料の例——	429
大林 太良	中国辺境諸民族の文化と居住地 ——エーバーハルト説の紹介と評価(そのⅡ. 南方辺境諸民族)——	455
菊池 秀明	明清期の中国広西東南部における中流宗族の動向 ——平南県胡以眈一族の族譜分析を中心に——	501
加藤 昌彦	ポー・カレン語諸方言の音韻体系——西部方言1種と東部方言2種——	547

20巻4号

田村 克己	ビルマの建国神話について	607
江口 一久	冗談関係にあるもののあいだでかわされる冗談 ——北部カメルーン・フルベ族の場合——	647
吉岡 政徳	北部ラガの人生儀礼における贈与交換	671
村瀬 智	「つぎはぎジャケット」と「ふんどし」 ——ベンガルのパウルの宗教と宗教儀礼——	719
Akitoshi Shimizu	Current Trends of Out-Migration from Kosrae and Pohnpei, the Federated States of Micronesia	753

21巻1号

平井京之介	北タイの工場社会における権力と相互行為 ——日系文具メーカーの事例から——	1
三島 禎子	ソニンケ社会における家族の連帯と規模——出稼ぎをめぐる——	77
近藤 雅樹	足踏み式回転脱穀機の発明——特許資料からみた成立前史——	119
林 俊雄	モンゴリアの石人	177

21巻2号

赤木 攻・秋道 智彌・秋篠宮文仁・高井 康弘	北部タイ、チエンコーンにおけるブラー・ブック (<i>Pangasianodon gigas</i>) の民族魚類学的考察……………	293
大林 太良	雲南のクツォン人と北部インドシナの採集狩猟民 ——古い伝統か文化的退化か——……………	345
小杉 康	物質文化からの民族文化誌的再構成の試み ——クリールアイヌを例として——……………	391

21巻3号

上杉 富之	ボルネオ・ムルット社会の葬礼に見られる贈与交換と社会関係……………	513
韓 景旭	中国朝鮮族にみる村の生活——吉林省星火村の調査報告——……………	569
楊 海英	オールドス・モンゴルの祖先祭祀 ——末子トロイ・エジン祭祀と八白宮の関連を中心に——……………	635

21巻4号

岸上 伸啓	カナダ・イヌイットの社会・経済変化 ——ケベック州のイヌクジュアク村の事例を中心に——……………	715
朴 銓烈	韓国社会における旅芸人の受け入れられ方……………	777
小田 亮	ポストモダン人類学の代価——ブリコロールの戦術と生活の場の人類学——……………	807
木下 太志	記録されなかった出生——人口人類学におけるシミュレーション研究——……………	877
Yoshitaka Terada	Effects of Nostalgia: The Discourse of Decline in <i>Periya Melam</i> Music of South India……………	921

22巻1号

菅原 和孝	記憶装置としての名前 ——セントラル・サン (Gui と Gana) における個人名の民族誌——……………	1
新免光比呂	農村の宗教対立を通してみた転換期のルーマニア社会……………	93
後藤 明	実践的問題解決過程としての技術 ——東部インドネシア・ティドレ地方の土器製作——……………	125
Bachamiya Abdul Hussainmiya	Aspects of Ethnicity among the Sri Lankan Malays……………	189
Brian A. Victoria	The Role of Nationalism in the “New Buddhism” of the Meiji Period……………	201

22巻2号

園田 直子	合成素材の分析・識別法に関する基礎研究 ——アルキド絵具を例として——……………	249
寺田 吉孝	カースト競合の「場」としてのカリスマ的演奏家 ——T. N. ラージャラッティナム・ピッライと南インド古典音楽文化——……………	283

熊文彬	西藏江孜白居寺壁画风格及其画境追求……………	327
内山純蔵	縄文時代後期の関東地方における漁労活動 ——先史生業活動復元へのGISの応用——……………	375
口蔵幸雄・野中健一・須田一弘・須田和代	移住と生業戦略 ——インドネシア、セラム島の農村における生業活動と食物利用——……………	425
費孝通	エスニシティの探究——中国の民族に関する私の研究と見解——……………	461

22巻3号

八杉佳穂	古典ユカテクマヤ語の逆受動についての一考察……………	491
平井京之介	北タイ農村における「仕事」概念の一考察——相互行為と社会関係——……………	527
聶莉莉	閩南農村における神々信仰 ——福建省晋江市農村での実地調査に基づいて——……………	585
Etsuko Kuroda	Apuntes sobre el Pluralismo Religioso y los Protestantes en la Sierra Mixe y la Ciudad de Oaxaca……………	661

22巻4号

佐々木史郎	18, 19世紀におけるアムール川下流域の住民の交易活動……………	683
庄司博史	エストニアのベツェリ領土問題——分断されたセトウ人をめぐって——……………	765
佐々木高明・松谷暁子・李昆声・阪本寧男	雲南省劍川県海門口遺跡出土の炭化穀粒をめぐって ——それはヒエではなく、アワであった——……………	803
渡辺仁	縄文土偶と女神信仰 ——民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究（I）——……………	829
Yoshio Nishi	The Orthographic Standardization of Burmese: Linguistic and Sociolinguistic Speculations……………	975
Toshifumi Gotō	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 16. <i>chad</i> , 17. <i>chand/chad</i> , 18. <i>chard/chrd</i> , 19. <i>dagh/dhag</i> , 20. <i>dves/dvis</i> , 21. <i>bandh/badh</i> , 22. ¹ <i>man</i> , 23. ² <i>man</i> , 24. <i>mnā</i> , 25. ¹ <i>yav/yu</i> , 26. ² <i>yav/yu</i> , 27. <i>sani</i> , 28. <i>star/str</i> , 29. <i>star²/str²</i> ……………	1001

23巻1号

黒田悦子	チカノ壁画から美術館のための「移動用壁画」へ ——メキシコ系アメリカ人の抵抗の表現（素描）——……………	1
古谷嘉章	芸術／文化をめぐる交渉——グアテマラのインディヘナ画家たち——……………	35
林勲男	夢語りの位相——バプアニューギニア、ペダムニの霊媒による語り——……………	95
渡辺仁	縄文土偶と女神信仰 ——民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究（II）——……………	129
Yoshio Nishi	The Development of Voicing Rules in Standard Burmese……………	253

23巻2号

白川 千尋	ヴァヌアツ・トンゴア社会における称号制度	267
深尾 葉子	中国西北部黄土高原における廟会をめぐる社会交換と自律的凝集	321
森 雅秀	オリッサ州カタック地区の密教美術	359

23巻3号

清水 昭俊	忘却のかなたのマリノフスキー——1930年代における文化接触研究——	543
中川 敏	学校者と出稼ぎ者——エンデの遠近両用眼鏡——	635
Yoshio Nishi	Old Burmese: Toward the History of Burmese	659

23巻4号

立川 武蔵	ネワール法界マンダラ図像資料	699
P. J. Matthews, J. Tanaka and S. Koyama	The Eighth International Conference on Hunting and Gathering Societies (CHAGS 8)	809
Shigeru Kayano	Ainu and the Salmon	815
Richard Lee	Hunter-Gatherer Studies and the Millennium: A Look Forward (And Back)	821
Nicolas Peterson	Hunter-Gatherers in First World Nation States: Bringing Anthropology Home	847
Harvey A. Feit	Analyzing and Celebrating Survival in a Globalizing World: Hunters, Others and Us	863

24巻1号

新免光比呂	社会主義国家ルーマニアにおける民族と宗教 ——民族表象の操作と民衆——	1
風間 計博	タビテウエア・サウスにおけるマニアバ（集会所）の多様化 ——外部論理の遮断・変換・摂取——	43
邓 晓 华	福建境内的闽、客族群及畲族の语言文化关系比较之试论	107
Yoshiko Goto	Store Food: A Case Study of the Food Supply in an Aboriginal Community from 1988-1995	141

24巻2号

岸上 伸啓	カナダにおける都市在住イヌイットの社会・経済状況 ——モントリオール地区の調査報告を中心に——	205
全 京秀	韓国博物館史における表象の政治人類学 ——植民地主義, 民族主義, そして展望としてのグローバリズム——	247

渡辺 仁	縄文土偶と女神信仰 ——民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究(Ⅲ)——	291
------	---	-----

24巻3号

Osamu Sakiyama	Nominals of Fatamanue, Seram Maluku: A Subgrouping Argument in Central Malayo-Polynesian	467
楊 海英	『チンギス・ハーンの二頭の駿馬』について ——写本と口頭伝承の比較を中心に——	485
三木 美裕	博物館・美術館の来館者研究——アメリカの事例から——	633

24巻4号

Shigeharu Tanabe	Memories Displaced by Ritual: Cognitive Processes in the Spirit Cults of Northern Thailand	707
齋藤 晃	ビルトッチの処刑——ボリビア・アマゾンの一殺人事件とその記憶——	727
口蔵 幸雄	最適採食戦略——食物獲得の行動生態学——	767
Isao Kumakura, Jane Cobbi and Josef Kreiner	Notes on the Japanese Collection at the Musée de l'Homme, Paris	873

25巻1号

加藤 昌彦	宇都宮方言におけるいわゆる自発を表す形式の意味のおよび 形態統語の特徴	1
赤嶺 淳	熱帯産ナマコ資源利用の多様化 ——フロンティア空間における特殊海産物利用の一事例——	59
河野 本道	アイヌ系住民の都市における動向 ——北海道内二大都市における場合の輻合・拡散現象——	113

25巻2号

野林 厚志	民族考古学的アプローチにもとづくパイワンの罽罽研究 ——動物遺存体の解釈に関する一試論——	151
筋内 匡	マブーチェ社会における口頭性 ——思考と存在の様式としてのコミュニケーションの様式——	177
西 義郎	ヒマラヤ地域のチベット・ビルマ系言語研究の動向 ——回想と現状——	203
Weera Ostapirat	Kra: The Thai Least-Known Sister Languages	235
Andrew Strathern and Pamela J. Stewart	Recent Ethnological Studies from the Highlands of Papua New Guinea	271

25巻3号

岸上 伸啓	北米北方地域における先住民による諸資源の交易について ——毛皮交易とその諸影響を中心に——	293
桑山 敬己	アメリカ文化人類学教科書の内容分析 ——1990年代前半からの変化を中心に——	355
井口 欣也	神殿と図像——中央アンデス地帯形成期のクントゥル・ワン神殿における 図像表現の変容プロセス——	385
松山 利夫	オーストラリアにおけるセンサスと先住民集計に関するノート	433

25巻4号

崎山 理	オーストロネシア語族と日本語の系統関係	465
西尾 哲夫	中東イスラム世界における「聖者」発生の社会的・認識的メカニズム ——エジプト・南シナイ地域の事例研究——	487
Musashi Tachikawa	The Sixteen Bodhisattvas in the Dharmadhātu Maṇḍala	537
Victor A. Shnirelman	Strange Customs: Incipient Social Differentiation in Kamchatka through the Eyes of the First Russian Explorers	625
Isao Kumakura, Josef Kreiner	Notes on the Japanese Collection of Count Bourbon Bardi at the Museo d'Arte Orientale di Venezia	641

『国立民族学博物館研究報告』 索引

A

- 足立 明 13-3
 赤木 攻 21-2
 赤嶺 淳 25-1
 秋道 智彌 2-4, 4-2, 5-3, 6-1, 6-3, 9-2,
 9-4, 10-4, 13-1, 18-4, 21-2
 AKIMICHI, Tomoya 5-2, 16-1, 17-1
 秋篠宮文仁 21-2
 荒井 芳廣 7-3
 浅川 滋男 11-3
 朝倉 敏夫 13-4, 17-4

C

- CHAN, Kwok Bun 19-4
 CHIANG, Claire See Ngho 19-4
 千葉 正士 8-1
 千葉 徳爾 8-2
 全 京 秀 (CHUN, Kyung-soo) 24-2
 COBBI, Jane 24-4

D

- DAI, Qingxia 17-4
 大丸 弘 4-4, 8-4, 9-3, 10-1, 10-3,
 12-1
 出口 晶子 12-2
 DENG, Hanzeng 11-1
 邓 晓 华 (DENG, Xiao Hua) 24-1

E

- 江口 一久 17-3, 20-4
 EGUCHI, Paul Kazuhisa 1-1, 1-2, 3-3
 江口 重幸 12-4
 永ノ尾 信悟 9-3, 10-4, 14-2

F

- 費 孝 通 (FEI, Xaio-Tong) 22-2
 FEIT, Harvey A. 23-4

FRORES OCHOA, Jorge A. 14-4

- 藤井 龍彦 1-2, 1-3, 2-1, 2-3, 5-1, 10-1,
 12-1, 15-2, 16-3
 藤井 知昭 1-2
 藤野 淑子 6-3, 7-3
 深野 康久 1-1
 深尾 葉子 23-2
 深澤 秀夫 13-2
 福井 勝義 4-4
 古谷 嘉章 13-1, 23-1

G

- 後藤 明 19-1, 22-1
 GOTO, Toshifumi 15-4, 16-3, 18-1, 22-4
 GOTO, Yoshiko 24-1

H

- 八村 廣三郎 5-2, 6-1
 韓 景 旭 (HAN, Jingshu) 21-3
 端 信行 1-1, 1-3, 1-4, 3-3, 18-1
 畑中 幸子 8-2
 林 勲男 19-3, 23-1
 林 隆夫 13-3
 HAYASHI, Takao 12-1
 林 俊雄 21-1
 林 行夫 14-1
 日浅 治枝子 5-3
 日比野 光敏 18-1, 18-4
 稗田 乃 17-1
 平井 京之介 21-1, 22-3
 HOCKINGS, Paul 18-2
 細川 弘明 10-2
 HOSOKAWA, Komei 19-3
 黄 才 贵 (HUANG, Caigui) 18-2
 HUSSAINMIYA, Bachamiya Abdul 22-1

- I**
- 井口 淳子 20-2
井口 欣也 25-3
煎本 孝 5-3, 11-2
石毛 直道 1-2, 1-3, 2-2, 3-2, 11-1,
11-3, 12-2, 12-3, 13-2,
14-1
石井 米雄 8-1
ISHII, Yoneo 3-4
石森 秀三 1-2, 2-2, 4-2
伊東 一郎 6-2, 6-4
伊藤 幹治 2-2, 2-4, 4-1, 11-1
泉 幽香 1-2
- K**
- 梶 茂樹 9-4
片倉 もとこ 12-3, 14-4
加藤 昌彦 20-3, 25-1
加藤 九祚 1-1, 1-2, 2-2, 2-4, 4-3, 8-3
加藤 隆浩 19-3
川瀬 豊子 4-1
KAYANO, Shigeru 23-4
風間 計博 24-1
慶田 勝彦 19-2
KHAMIS, Said A. M. 18-4
菊池 秀明 20-3
金 尚 寶 (KIM, Sang-Bo) 19-1
君島 久子 2-1, 11-2
君塚 明光 12-3
木村 秀雄 10-1
木村 法光 9-1
木下 太志 21-4
岸上 伸啓 19-3, 21-4, 24-2, 25-3
北原 淳 8-1
小林 致広 9-4
古林 清一 11-3
河野 本道 25-1
小門 典夫 19-4
小馬 徹 14-1, 15-1
小長谷 有紀 16-3
近藤 雅樹 16-4, 21-1
- 小杉 泰 10-4
小杉 康 21-2
小谷 凱宣 8-2
小山 修三 5-2, 5-3, 6-3, 9-1, 13-1
KOYAMA, Shuzo 23-4
KREINER, Josef 24-4, 25-4
久保 正敏 15-4, 18-4
口蔵 幸雄 22-2, 24-4
KUMAKURA, Isao 24-4, 25-4
栗本 英世 11-1
KURIMOTO, Eisei 20-2
栗田 靖之 2-4, 6-1, 11-2
黒田 悦子 1-1, 2-2, 2-4, 3-3, 4-4, 6-4,
8-3, 12-1, 14-1, 15-4, 23-1
KURODA, Etsuko 1-2, 18-3, 22-3
車 政弘 10-2
桑山 敬己 25-3
- L**
- LEE, Richard 23-4
李 昆 声 (LI, Konsheng) 22-4
LIANG, Guozhao 11-1
LUYTEN, Josef M. 11-4
- M**
- 馬淵 卯三郎 7-1
増田 昭三 5-1
MATISOFF, James A. 20-1
松原 正毅 1-2
松田 凡 17-1
松谷 暁子 22-4
松山 利夫 2-3, 4-1, 6-3, 12-3, 13-2,
14-4, 18-3, 25-3
松澤 員子 1-3, 3-3
松園 万亀雄 13-4
MATTHEWS, Peter J. 23-4
三木 美裕 24-3
MILLONES, Lous 14-4, 17-1
南 真木人 18-3
三島 禎子 21-1
宮本 勝 2-1, 10-2

- 宮本 定明 5-2
 宮本 繁雄 1-3
 宮脇 幸生 16-4
 水谷 忠士 12-3
 森 明子 16-2
 森 雅秀 15-4, 23-2
 森田 恒之 6-1, 6-4, 10-3
 守屋 毅 4-4, 12-3
 村瀬 智 20-4
- N**
 永渕 康之 19-2
 長野 泰彦 5-2, 9-3, 9-4, 10-3, 11-4
 NAGANO, Yasuhiko 7-3
 中川 敏 23-3
 中牧 弘允 5-2, 8-1
 中村 基衛 2-3
 中村 俊亀智 1-1, 1-4, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 3-2, 4-1, 4-2, 4-4, 6-1, 8-3, 8-4, 9-1, 10-4
 中谷 英明 10-1
 中山 和芳 1-1, 2-1, 9-4, 16-3
 名久井 文明 18-2
 ナートスパー, チャティップ 17-3
 轟 莉 莉 (NIE, Lili) 19-1, 22-3
 西 義郎 11-4, 15-1, 16-1, 25-2
 NISHI, Yoshio 22-4, 23-1, 23-3
 西田 正規 6-2, 10-3
 西川 麦子 18-4
 西村 綏子 5-3
 西尾 哲夫 25-4
 野林 厚志 25-2
 野村 雅一 4-4
 野中 健一 22-2
 NWOYE, Onuigbo G. 17-3
- O**
 小田 亮 21-4
 小川 正広 9-3
 小川 了 4-2, 5-3, 6-1, 7-4, 8-3, 8-4
 大給 近達 1-1, 1-3, 1-4, 2-3, 3-2
- 大林 太良 10-2, 13-4, 20-2, 20-3, 21-2
 大胡 修 1-3, 3-3, 4-3
 OHMORI, Motoyoshi 2-2
 大森 康宏 6-3, 9-2, 9-3
 大貫 良夫 3-4, 5-1
 大島 新一 18-4
 太田 好信 18-3
 大塚 和夫 8-3, 9-2, 10-2, 16-1
 大塚 和義 1-4, 3-2, 12-2, 19-4
 及川 昭文 5-2, 7-3
 ONODA, Shunzo 15-4
 OSTAPIRAT, Weera 25-2
- P**
 朴 鎔 烈 (PARK, Jeon Yull) 21-4
 PEASE G. Y., Franklin 5-1
 PETERSON, Nicholas 23-4
- R**
 ラドル, ケネス 12-2, 12-3
 RUDDLE, Kenneth 3-3, 4-4, 5-3, 9-2, 10-3, 10-4, 11-1, 11-4, 12-1
- S**
 三枝 幸裕 8-2
 齋藤 晃 24-4
 齋藤 晨二 13-2
 阪本 寧男 3-4, 22-4
 崎山 理 7-4, 11-2, 13-2, 16-4, 18-1, 19-1, 25-4
 SAKIYAMA, Osamu 16-1, 20-1, 24-3
 佐久間 留理子 15-2
 櫻井 哲男 1-3, 2-1, 3-1, 10-3, 13-4
 SAKURAI, Tetsuo 6-4
 佐々木 高明 1-1, 3-2, 12-3, 22-4
 佐々木 史郎 10-2, 14-3, 16-2, 22-4
 佐藤 寛 17-2
 佐藤 信行 5-1
 佐藤 進 9-3
 SAUCHOMAL, Sabino 6-4

- 瀬川 昌久 12-3, 17-2
 関本 照夫 1-3, 3-3, 5-2, 11-2
 SEKINE, Yasumasa 10-2
 SHERARD, Michael L. 13-4
 柴田 紀男 7-3, 9-3
 重松 真由美 6-2
 重松 信司 7-2
 嶋本 隆光 10-3
 清水 昭俊 17-3, 23-3
 SHIMIZU, Akitoshi 20-4
 清水 芳見 10-4
 新免 光比呂 22-1, 24-1
 白川 千尋 23-2
 SHNIRELMAN, Victor A. 25-4
 庄司 博史 8-2, 10-4, 12-4, 15-3, 22-4
 祖父江 孝男 1-1, 2-1, 3-2, 6-2
 園田 直子 20-3, 22-2
 スチュアート, ヘンリ 19-3
 STEWART, Pamela J. 25-2
 STRATHERN, Andrew 25-2
 須田 一弘 22-2
 須田 和代 22-2
 須藤 健一 2-2, 3-3, 4-2, 5-4, 6-4, 9-2,
 10-4
 菅原 和孝 12-4, 22-1
 杉本 尚次 1-2, 2-1, 3-1, 4-1, 4-3, 5-2,
 7-1, 11-1
 杉島 敬志 13-2, 15-3, 18-2
 杉田 繁治 4-1, 6-3, 11-1
 杉藤 重信 7-2, 9-1
- T**
- 立川 武蔵 23-4
 TACHIKAWA, Musashi 8-1, 15-4, 25-4
 高橋 晴子 10-3, 12-1
 高橋 慶治 17-2
 高井 康弘 21-2
 高谷 紀夫 13-2
 竹村 卓二 1-4, 3-4
 竹沢 尚一郎 13-4
 田村 克己 20-4
- 田邊 繁治 1-2, 1-4
 TANABE, Shigeharu 24-4
 TANAKA, Jiro 23-4
 田中 雅一 13-3, 15-2, 18-1
 垂水 稔 3-1, 3-4, 7-2
 寺田 吉孝 22-2
 TERADA, Yoshitaka 21-4
 友枝 啓泰 3-1, 5-1, 5-4, 10-1
 TOMOEDA, Hiroyasu 17-1
 坪郷 英彦 4-3
 塚田 誠之 14-2, 17-2
- U**
- 内山 純蔵 22-2
 上杉 富之 21-3
 梅棹 忠夫 1-1, 1-4
- V**
- VEREECKE, Catherine 18-1
 VÉZINA, Raymond 7-3
 VICTORIA, Brian A. 22-1
- W**
- 和田 完 3-4, 12-2
 和田 光生 18-4
 和田 正平 2-1, 4-3, 13-3
 和田 祐一 1-1, 7-3
 渡辺 仁 11-2, 13-2, 22-4, 23-1, 24-2
 WATANABE, Hitoshi 7-1
- X**
- 熊 文 彬 (XIONG, Wen Bin) 22-2
 徐 平 (XU, Ping) 20-1
- Y**
- 山本 真鳥 9-1
 山本 順人 3-2
 山本 紀夫 5-1, 5-4, 7-4
 山下 晋司 13-1, 17-1
 山崎 光子 5-3, 6-2
 箭内 匡 25-2

楊海英 (YANG, Haiying) 21-3, 24-3

安田喜憲 9-4

八杉佳穂 7-1, 7-3, 10-1, 11-1, 12-4,
14-2, 14-3, 15-1, 22-3

YASUGI, Yoshiho 16-2, 17-4

安村直己 19-2

尹绍亭 (YIN, Shaoting) 17-2

吉田集而 1-2, 1-3, 1-4, 2-3, 3-3, 5-4,
7-3, 8-2, 9-1, 10-3

吉川利治 8-1

吉本忍 12-2, 15-1

吉岡政徳 20-4

Z

周達生 (ZHOU, Dasheng) 7-1, 11-4

ZUBKO, Galina V. 17-3

国立民族学博物館研究報告別冊 総目次

1号

長野 泰彦 編 国立民族学博物館蔵 青木文教師将来チベット民族資料目録

2号

石毛 直道 編 国立民族学博物館蔵 篠田 統 文庫図書目録

3号

伊藤 幹治 編 奄美・沖縄の宗教的世界

4号

大丸 弘 西欧型服装の形成——和服論の観点から——

5号

加藤 九祚・小谷 凱宣 編
ピウスツキ資料と北方諸民族文化の研究

6号

牛島 巖・中山 和芳 編
オセアニア基層社会の多様性と変容——ミクロネシアとその周辺——

7号

長野 泰彦・立川 武蔵 編
法界語自在マンドラの神々

8号

石毛 直道 編 国立民族学博物館蔵 篠田 統 資料目録 I

9号

栗田 靖之 編 北東インド諸民族の基礎資料

10号

石毛 直道 編 国立民族学博物館蔵 篠田 統 資料目録 II

11号

大林 太良・杉田 繁治・秋道 智彌 編
東南アジア・オセアニアにおける諸民族文化のデータベースの作成と分析

12号

和田 正平 編 アフリカ民族技術の伝統と変容

13号

大丸 弘 固有属性分析による衣服標本カタログ

14号

竹村 卓二 編 漢族と隣接諸民族——民族のアイデンティティの諸動態——

15号

小山 修三 編 オーストラリア・アボリジニ——狩猟採集民の現在——

16号

石毛 直道・井上 忠司 編
現代日本における家庭と食卓——銘々膳からチャブ台へ——

17号

杉田 繁治・洪 政国・山本 泰則 編
民族学情報有効利用のためのコンピューター応用手法についての基礎研究

18号

立川 武蔵・正木 晃 編
チベット仏教図像研究——ベンコルチュエデ仏塔——

19号

大丸 弘・久保 正敏・松下 知子・猿田佳那子・高橋 晴子・田中 昌美 編
国立民族学博物館所蔵 衣服標本カタログ 索引

20号

松原 正毅・小長谷有紀・佐々木史郎 編
ユーラシア遊牧社会の歴史と現在

21号

吉岡 政徳・林 勲男 編
オセアニア近代史の人類学的研究——接触と変貌, 住民と国家——

国立民族学博物館研究報告 25卷4号

〔監 修〕
石 毛 直 道
〔編集委員長〕
長 野 泰 彦
〔編 集 委 員〕
江 口 一 久
韓 敏
熊 倉 功 夫
崎 山 理
佐々木 史 郎
新 免 光 比 呂
立 川 武 藏
田 邊 繁 治
西 尾 哲 夫

平成13年3月30日 発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 25卷4号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL 06(6876)2151(代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075(441)3155(代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.25 no.4
2001

- Osamu, Sakiyama Genetic Relationships between Austronesian and Japanese
- Nishio, Tetsuo Social and Cognitive Background for the Genesis of So-called Sainthood
- Tachikawa, Musashi The Sixteen Bodhisattvas in the Dharmadhātu Maṇḍala
- Shnirelman, Victor A. Strange Customs: Incipient Social Differentiation in Kamchatka through the Eyes of the First Russian Explorers
- Kumakura, Isao
Kreiner, Joseph Notes on the Japanese Collection of Count Bourbon Bardi at the Museo d'Arte Orientale di Venezia

Chronological and Alphabetical Index of
Bulletin of the National Museum of Ethnology
Vol. 1, No.1–Vol.25, No.4

Chronological Index of
Bulletin of the National Museum of Ethnology Special Issue
No. 1–No.21



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-6876-2151

ISSN 0385-180X